茨城県感染症流行情報

INFECTIOUS DISEASE WEEKLY REPORT IBARAKI

2016年第20週 (05月16日~05月22日)

【今週の動向】ぬ

①各定点疾患の流行状況は、比較的穏やかな状況にあるようです。今後夏にかけて例 年流行が予測される疾患の動向に注視していく必要があるかと思われます。

平成28年(2016)年05月26日発行

- ・感染症法の一部改正で2016年 2月15日から、ジカウイルス感染 症が4類感染症の届出対象に追 加されました。
- ★定点把握疾患のうち, 性感染症(性器クラミジア感染症, 性器ヘルペス感染症, 尖圭コンジローマ, 淋菌感染症) および基幹定点(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症, ペニシリン耐性肺炎球菌感染症, 薬剤耐性緑膿菌感染症) については, 別途月報に掲載しています。

- この情報は、速報性を重視しておりますので、今後、数値に若干の変更が生じる場合があります。
- 全国の感染症発生動向情報につきましては、国立 感染症研究所 感染症疫学センターのホームページ (http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html)
 をご覧ください。

茨城県感染症情報センター

Ibaraki Infectious Disease Surveillance Center



茨城県衛生研究所【編集·発行】 電話:029-241-6652 全数把握対象疾患 報告数 2016年第20週

16週 17週 18週 19週 20週 年累計 20週 20』 20		<u>全数把握</u>	<u> 对家狗</u>	违		<u>- 弟201</u>						
到	分類	対象疾患			茨城県(診断日)			全国(記	诊断日)		
預			16週	17週	18週	19週	20週	年累計	20週	年累計		
クリミア・コンゴ出血熱	1類	エボラ出血熱										
値そう	7,7											
南米出血熱 ベスト マールブルグ病 ラッサ線 2類 急性反自動炎 総核 15 8 7 8 24 228 401 86 ジフテリア 重産急性呼吸器症候群 中東呼吸器感染症 中東呼吸器感染症 中東呼吸器感染症 1 5 8 1 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>												
ベスト												
マールブルグ病 ラッサ熱 総核 15 8 7 8 24 228 401 86 ジフテリア 重症急性呼吸器症候群 中東呼吸器感染症 自インフルエンザ(H5N1) 自インフルエンザ(H5N1) 自インフルエンザ(H5N1) 自インフルエンザ(H5N1) 自インフルエンザ(H5N1) 自インフルエンザ(H5N1) 自インフルエンザ(H5N1) 自インフルエンザ(H5N1) 自インフルエンザ(H5N1) 原子フス 2 1 2 1 2 8 24 3 1 1 1 5 8 1 1 1 1												
ラッサ熱 2類 絵性灰白髄炎 15 結核 15 ジフテリア 主途性呼吸器症候群 中東呼吸器感染症 6人プンルエンザ(H5N1) 島インフルエンザ(H5N1) 1 島インフルエンザ(H7N9) 2 3類 1 脳管出血性大腸菌感染症 1 服子フス 3 メラテス 3 長型肝炎 1 ウエストナイル熱 1 A型肝炎 2 エキノコックス症 カウエストナイル熱 A型肝炎 2 エキノコックス症 カウム病 オウム病 オウム病 オウム病 オウム病 オウム病 カウム病 オウム病 1 オンスク出血熱 1 回帰診 2 サヤサスル森林病 3 日帰野 性性山血熱 1 西部ウマ脳炎 2 グニ接介脳炎 3 ウェングニア熱 2 2のが虫病 3 アング熱 3 東部ウマ脳炎 3 ハンタウイルス藤染症 4 日本脳炎 4 ハンタウイルス藤森鹿 4 日本脳炎 4 ハンタウイルス藤森庭 4 日本紅斑炎 4 ハンメウラフルス藤森庭 4 日本脳炎 4 ハンメウラフスボッリスス様												
2類 急性灰白髄炎 前核												
結核	0 米五											
ジフテリア 重症急性呼吸器症候群 中東呼吸器症候症 1 島インフルエンザ(H5N1) 1 島インフルエンザ(H7N9) 1 細菌性赤痢 1 撮管出血性大腸菌感染症 1 2 1 撮管出血性大腸菌感染症 1 2 1 場管サスフス(パラチフス 1 パラチフス 1 4類 1 型脂光力ス 1 クエストナイル熱 2 ム型肝炎 2 オウム病 オウム病 オースク出血熱 1 回帰整 4 キャヤメル森林病 2 の数 2 工大病 1 コウシオイデス症 1 サル痘 3 ジカウイルス療染症 1 野症候性出血熱 3 西部ウマ脳炎 5 ダニ集所 3 アングニアシウルエンザ(H5N1除く) 3 ニバウイルス藤楽症 3 日本証券 5 フルセラ症 4 日本証券 5 フルススエラウマ脳炎 2 ペンドラウイルス藤楽症 3 日	乙羖		4.5					000	404	0040		
 重症急性呼吸器症候群 中東呼吸器必染症 島インフルエンザ(H5N1) 島インフルエンザ(H5N9) 3類 コレラ 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 1 2 1 2 8 24 3 3 カラフス パラチフス パラチフス ストナイル熱 ム型肝炎 エキノコックな症 黄敷 オウム病 カウシ病 オウム病 キャサスル森林病 Q数 経犬病 コクシジオイデス症 サル痘 ジカウイルス感染症 ※ 重症熱性血小板減少症候群 腎症候性血血験 西部ウマ脳炎 ダニ媒介脳炎 炭疽 チクングニア熱 つつが虫病 デング熱 東部ウマ脳炎 島インフルエンザ(H5N1除く) ニパウイルス藤・症 日本証数 日本証数 日本証数 日本証数 日本証数 日本証数 日本証数 日本証数 カンクテクイルス療・症 日本証数 日本証数 ハンタウイルス病・療・症 日本証数 ハンタウイルス病・療・項 日本証数 ス・ス・エ・ラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 男・項 フルセラ症 ス・ネ・エ・テウィルス感染症 カンドラウイルスの染症 カンドラウイルスの染む カンドラウイルスの染症 カンドラウイルスの染症 カンドラウイルスの染む カンドラウイルスの染む カンドラスを カンドラ			15	8	/	8	24	228	401	8642		
中東呼吸器感染症												
高インフルエンザ(H5N1) 同インフルエンザ(H7N9) 3類 10ラ 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 1 2 1 2 8 24 3 1 1 1 1 5 8 1 1 1 1												
鳥インフルエンザ(H7N9) 別報性 別報性 別報性 別報性 別報性 別報度 別報度												
3類 コレラ												
細菌性赤痢												
陽管出血性大腸菌感染症 1 2 1 2 8 24 3 展子フス パラチフス 1 5 8 1 クエストナイル熱 1 5 8 1 A型肝炎 2 4 2 1 工生/コックス症 黄熱 7 7 7 オウム病 オムスク出血熱 9 7 7 7 7 国帰熟 4 4 7	3類									1		
B									1	46		
() () () () () () () () () (1	2		1	2	8	24	310		
E型肝炎									3	20		
ウエストナイル熱 2 4 2 1 A型肝炎 2 4 2 1 正キノコックス症 黄熱 </td <td></td> <td>パラチフス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8</td>		パラチフス								8		
ウエストナイル熱 2 4 2 1 A型肝炎 2 4 2 1 工キノコックス症 黄熱 </td <td>4類</td> <td>E型肝炎</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>175</td>	4類	E型肝炎	1				1	5	8	175		
A型肝炎 2 4 2 1 支熱 オウム病 オカムスク出血熱 1												
エキノコックス症 黄熱 オウム病 オムスク出血熱 回帰熱 キャサヌル森林病 20熱 現在天病 コクシジオイデス症 1 単症療性血小板減少症候群 3 腎症候性出血熱 5 西部ウマ脳炎 2 ダニ媒介脳炎 2 炭疽 3 デングニア熱 3 つつが虫病 3 デング熱 1 コープシジオイデスを 2 皮疽 3 オウンベニア熱 3 コープンリンエンザ(H5N1除く) 3 ニパウイルス感染症 4 日本紅斑熱 4 日本脳炎 4 ハンタウイルス肺症候群 9 Bウイルス病 2 鼻疽 2 ブルセラ症 ペネズエラウマ脳炎 ペンドラウイルス感染症 2 発しんチフス ス ボツリヌス症 2				2				4	2	140		
黄熱										4		
オースク 出血熱												
オムスク出血熱 回帰熱 日帰熱 第 在大病 3 日本ビス病 1 エナ病 3 ロウジジオイデス症 1 サル痘 3 野症候性山血熱 3 西部ウマ脳炎 2 ダニ媒介脳炎 2 炭疽 1 テングニア熱 3 つつが虫病 3 デング熱 1 東部ウマ脳炎 3 島インフルエンザ(H5N1除く) 5 上パウイルス感染症 4 日本脳炎 7)ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 9 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ストラウイルス感染症 発しんチフス スポツリヌス症										1		
回帰熱 キャサヌル森林病 Q熟 第天病 コクシジオイデス症 1 サル痘 3 ジカウイルス感染症 ※ 重症熱性血小板減少症候群 3 腎症候性出血熱 四部ウマ脳炎 皮疽 ケングニア熱 つつが虫病 3 デング熱 1 東部ウマ脳炎 1 島インフルエンザ(H5N1除く) 1 ニパウイルス感染症 4 日本紅斑熱 4 日本紅斑熱 4 日本紅斑熱 4 日本紅斑熱 4 日本紅斑熱 5 日本紅斑熱 4 日本紅斑熱 4 日本紅斑炎 2 ハンタウイルス肺症候群 5 Bウイルス病 5 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 2 ヘンドラウイルス感染症 2 発しんチフス 3 ボツリヌス症 3												
キャサヌル森林病 Q熟 狂犬病 コクシジオイデス症 サル痘 ** ジカウイルス感染症 ** 重症熱性血小板減少症候群 3 腎症候性出血熱 ** 西部ウマ脳炎 ** 炭疽 ** チクングニア熱 3 つつが虫病 3 デング熱 1 東部ウマ脳炎 ** 島インフルエンザ(H5N1除く) ** ニパウイルス感染症 4 日本脳炎 ** ハンタウイルス肺症候群 ** Bウイルス病 ** 鼻疽 ブルセラ症 ベネズェラウマ脳炎 ** ヘンドラウイルス感染症 ** 発しんチフス ** ボツリヌス症 **										1		
Q熱 狂犬病 コクシジオイデス症 サル痘 ジカウイルス感染症 ※ 重症熱性血小板減少症候群 3 腎症候性出血熱 西部ウマ脳炎 ダニ媒介脳炎 炭疽 チクングニア熱 3 つつが虫病 3 ボンク熱 1 東部ウマ脳炎 1 鳥インフルエンザ(H5N1除く) ニパウイルス感染症 4 日本紅斑熱 4 日本脳炎 ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症										'		
狂犬病 コクシジオイデス症 サル痘 ジカウイルス感染症 運症熱性血小板減少症候群 3 腎症候性出血熱 四部ウマ脳炎 グニ媒介脳炎 以底 ボングニア熱 3 つつが虫病 3 1 デング熱 1 5 1 鳥インフルエンザ(H5N1除く) ニパウイルス感染症 4 日本紅斑熱 4 4 日本脳炎 ハンタウイルス肺症候群 9 7 Bウイルス病 原殖 ブルセラ症 スズエラウマ脳炎 ベンドラウイルス感染症 スペンドラウイルス感染症 2 発しんチフス ボツリヌス症 2												
コクシジオイデス症 サル痘 ジカウイルス感染症 ※ 重症熱性血小板減少症候群 3 腎症候性出血熱 数 西部ウマ脳炎 グニ媒介脳炎 炭疽 3 チクングニア熱 3 つつが虫病 3 デング熱 1 東部ウマ脳炎 第インフルエンザ(H5N1除く) ニパウイルス感染症 4 日本紅斑熱 4 日本紅斑熱 4 日本脳炎 ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 9 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ベンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症												
サル痘 ジカウイルス感染症 1 重症熱性血小板減少症候群 3 腎症候性出血熱										1		
ジカウイルス感染症 1 重症熱性血小板減少症候群 3 腎症候性出血熱 2 西部ウマ脳炎 3 炭疽 3 アクングニア熱 3 つつが虫病 3 デング熱 1 東部ウマ脳炎 3 鳥インフルエンザ(H5N1除く) 2 ニパウイルス感染症 4 日本脳炎 4 ハンタウイルス肺症候群 5 Bウイルス病 9 鼻疽 7 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ペンドラウイルス感染症 2 発しんチフス ボツリヌス症										'		
重症熱性血小板減少症候群 3 腎症候性出血熱 2 西部ウマ脳炎 3 炭疽 3 チクングニア熱 3 つつが虫病 3 デング熱 1 東部ウマ脳炎 3 鳥インフルエンザ(H5N1除く) 3 ニパウイルス感染症 4 日本脳炎 4 ハンタウイルス肺症候群 3 Bウイルス病 9 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症									1	6		
腎症候性出血熱 西部ウマ脳炎 ダニ媒介脳炎 歩症 炭疽 チクングニア熱 つつが虫病 3 1 デング熱 1 5 1 東部ウマ脳炎												
西部ウマ脳炎 ダニ媒介脳炎 炭疽 チクングニア熱 つつが虫病 コ 東部ウマ脳炎 鳥インフルエンザ(H5N1除く) ニパウイルス感染症 日本紅斑熱 日本脳炎 ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症									3	12		
ダニ媒介脳炎 炭疽 チクングニア熱 つつが虫病 3 1 デング熱 1 5 1 東部ウマ脳炎 2 1 鳥インフルエンザ(H5N1除く) 2 2 ニパウイルス感染症 4 4 日本脳炎 4 2 ハンタウイルス肺症候群 9 2 Bウイルス病 9 2 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ベンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症												
炭疽 チクングニア熱 つつが虫病 3 1 デング熱 1 5 1 東部ウマ脳炎 2 2 鳥インフルエンザ(H5N1除く) 2 2 ニパウイルス感染症 4 4 日本脳炎 4 2 ハンタウイルス肺症候群 2 2 Bウイルス病 3 2 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 4 2 ヘンドラウイルス感染症 2 2 発しんチフス ボツリヌス症												
チクングニア熱 3 1 つつが虫病 3 1 デング熱 1 5 1 東部ウマ脳炎 8 4 1 1 5 1 島インフルエンザ(H5N1除く) 1 2 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 1 3 1 3 3 1 3 3 1 3 3 3 1 3												
つつが虫病 3 1 デング熱 1 5 1 東部ウマ脳炎 2 1 5 1 島インフルエンザ(H5N1除く) 2									-			
デング熱 1 5 1 東部ウマ脳炎 8インフルエンザ(H5N1除く) 2 ニパウイルス感染症 4 4 日本脳炎 7ンタウイルス肺症候群 8 Bウイルス病 9 7 基直 7 7 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 インドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症 1							-			2		
東部ウマ脳炎 月インフルエンザ(H5N1除く) ニパウイルス感染症 4 日本紅斑熱 4 日本脳炎 アンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 9痘 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 タとしんチフス ボツリヌス症 カンドラウス								3		122		
鳥インフルエンザ(H5N1除く) 1 ニパウイルス感染症 4 日本脳炎 1 ハンタウイルス肺症候群 1 Bウイルス病 1 鼻疽 1 ブルセラ症 マネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 2 発しんチフス ボツリヌス症									5	133		
ニパウイルス感染症 4 日本紅斑熱 4 日本脳炎 バンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 9 導症 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ベンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症												
日本紅斑熱 4 日本脳炎 ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 9 募疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 マンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症												
日本脳炎 ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 タ 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 マンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症									<u> </u>	2 .		
ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 コルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 マンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症									4	31		
Bウイルス病 第 鼻疽 1 ブルセラ症 マネズエラウマ脳炎 ベンドラウイルス感染症 2 発しんチフス ボツリヌス症												
鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									 			
ブルセラ症 イネズエラウマ脳炎 ベンドラウイルス感染症 サフス ボツリヌス症 カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・												
ベネズエラウマ脳炎 クンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症												
ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症									ļ			
発しんチフス ボツリヌス症												
ボツリヌス症												
		ボツリヌス症								1		
マラリア		マラリア						1	1	17		

※2016年2月15日から、4類感染症に追加されました。

全数把握对象疾患 報告数 2016年第20週

1	主致化性外						<u> </u>	1		
分類	対象疾患				診断日)			全国(診断日)		
		16週	17週	18週	19週	20週	年累計	20週	年累計	
4類	野兎病									
	ライム病									
	リッサウイルス感染症									
	リフトバレー熱									
	類鼻疽									
	レジオネラ症			1		1	11	28	410	
	レプトスピラ症								3	
	ロッキー山紅斑熱									
5類	アメーバ赤痢				1		8	17	455	
(全数)	ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)						1	4	91	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		2			1	6	19	505	
	急性脳炎		1				18	8	395	
	クリプトスポリジウム症								5	
	クロイツフェルト・ヤコブ病						2	1	70	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1				3	3	199	
	後天性免疫不全症候群				1		6	13	533	
	ジアルジア症						1		23	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1				2	2	132	
	侵襲性髄膜炎菌感染症							1	21	
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	2	1	1		19	37	1274	
	水痘(入院に限る)		1				2	2	104	
	先天性風しん症候群									
	梅毒	2	2	1	3	2	23	63		
	播種性クリプトコックス症			1			3	2	46	
	破傷風							1	38	
	バンコマイシン耐性							1	1	
	黄色ブドウ球菌感染症									
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								15	
	風しん							2	43	
	麻しん				1		1		8	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症								15	

<20週の保健所別報告数>

	疾患名	結核	腸管出血性大腸菌 感染症	E型肝炎	レジオネラ症	カルバペネム耐性腸 内細菌科細菌感染症	梅毒
	水戸	2					
	ひたちなか						
	常陸大宮						
	日立						
保	鉾田						
健	潮来	2					
所	竜ケ崎			·	1	1	·
名	土浦	1	1				1
	つくば	4		1			
	筑西		1				
	常総						
	古河	15					1
	合 計	24	2	1	1	1	2

(結核は、集団発生患者も含んでいます。)

週報告 定点把握対象疾患 報告数 2016年第20週

1	型拟百 化总化物	ヒヘンタン		拟口药		<u> </u>		1	
定点種別	対象疾患			茨坝				全国(速報)
		16週	17週	18週	19週	20	週	20	週
		報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	インフルエンザ	353	220	133	51	30	0.25	2357	0.48
小児科	RSウイルス感染症	3	5	4	1	2	0.03	312	0.10
	咽頭結膜熱	22	15	13	32	22	0.29	1755	0.56
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	144	155	129	165	163	2.17	8848	2.83
	感染性胃腸炎	355	401	342	311	357	4.76	19295	6.16
	水痘	49	32	46	53	16	0.21	1139	0.36
	手足口病	16	5	6	3	5	0.07	428	0.14
	伝染性紅斑	15	19	15	18	12	0.16	1314	0.42
	突発性発しん	33	34	23	23	21	0.28	1828	0.58
	百日咳	0	0	0	0	0	0.00	65	0.02
	ヘルパンギーナ	3	3	4	2	7	0.09	656	0.21
	流行性耳下腺炎	66	67	62	69	53	0.71	2967	0.95
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	1	0.06	8	0.01
	流行性角結膜炎	14	17	4	15	12	0.71	452	0.66
基幹	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.00	9	0.02
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.00	29	0.06
	マイコプラズマ肺炎	1	5	6	2	2	0.15	250	0.53
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0.00	9	0.02
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	6	2	0	3	3	0.23	174	0.37

この情報は、速報性を重視しておりますので、

県内の定点医療機関数

	インフルエンザ	120
	小児科	75
定点種別	眼科	17
	性感染症(月報告)	22
	基幹	13

く定点把握対象疾患のコメント>

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、先週に比べて全国では増加し、本県ではほぼ横ばい状況です。保健所別で見てみると、つくば保健所管内が幾分高めです。(P4・P5・P6参照)
- ・流行性耳下腺炎は、先週に比べて全国では横ばい状況で、本県では減少しましたが、昨年同期に 比べて高めで推移しているため、もうしばらく注意が必要と思われます。保健所別で見てみると、潮来 保健所管内が幾分高めです。(P4・P5・P7参照)

今後、数値に若干の変更が生じる場合があります。

定点把握对象疾患報告数【保健所別】2016年第20週

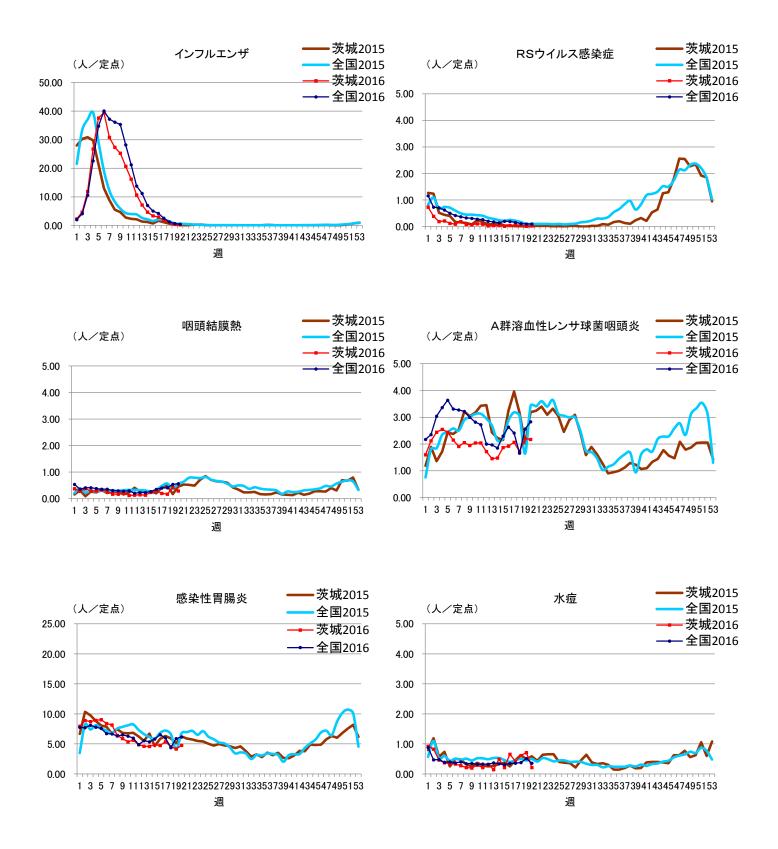
是然近性外外心状自然上外性/////2010年第20년														
定点種別	疾 病/保健所	水戸	ひたちなか	常陸 大宮	日立	鉾田	潮来	竜ケ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	県
インフル エンザ	インフルエンザ	6	1	4	2	0	0	4	1	6	0	0	6	30
	RSウイルス	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	咽頭結膜熱	4	0	0	2	1	2	5	0	2	3	0	3	22
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	15	10	6	8	0	15	30	3	34	17	11	14	163
	感染性胃腸炎	19	37	27	20	5	1	92	23	62	49	21	1	357
	水痘	1	3	1	0	0	1	4	0	2	2	1	1	16
小児科	手足口病	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	5
	伝染性紅斑	0	0	0	4	1	0	6	0	1	0	0	0	12
	突発性発しん	3	4	1	2	0	0	5	1	3	0	2	0	21
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘルパンギーナ	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	0	7
	流行性耳下腺炎	8	5	1	1	0	11	14	3	2	2	5	1	53
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0		0	0	0	0	1	0	0	1
四尺1十	流行性角結膜炎	4	3	1	1		0	2	0	1	0	0	0	12
	細菌性髄膜炎 (真菌性を含む)	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0
	無菌性髄膜炎	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0
基幹	マイコプラズマ肺炎	0	0		2	0	0	0	0	0	0		0	2
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	1		0	0	0	2	0	0	0		0	3

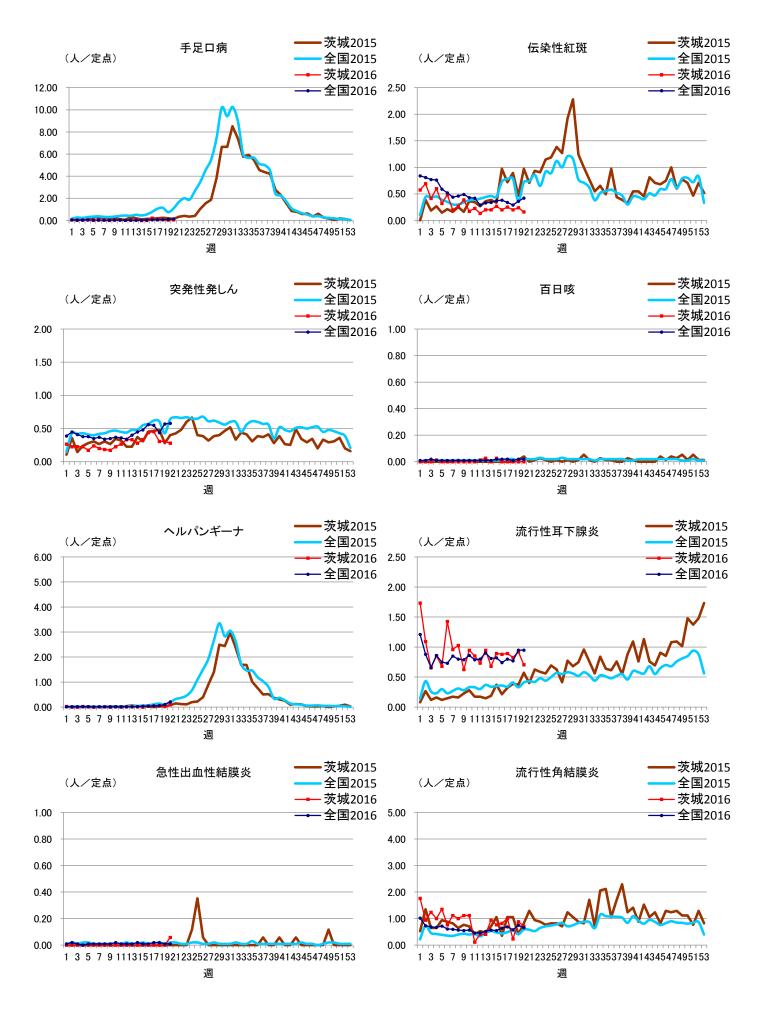
定点把握対象疾患定点当たり報告数【保健所別】2016年第20週

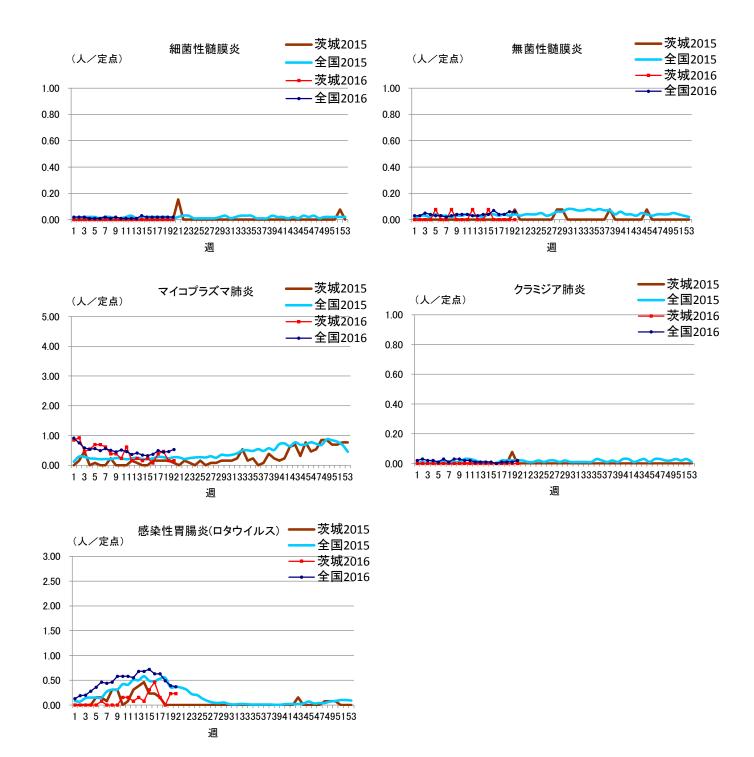
定点種別	疾 病/保健所	水戸	ひたち なか	常陸 大宮	日立	鉾田	潮来	竜ケ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	県
インフル エンザ	インフルエンザ	0.35	0.13	0.50	0.18	0.00	0.00	0.29	0.08	0.60	0.00	0.00	0.75	0.25
	RSウイルス	0.09	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
	咽頭結膜熱	0.36	0.00	0.00	0.29	0.33	0.40	0.56	0.00	0.33	0.50	0.00	0.60	0.29
	A群溶血性レンサ球菌咽 頭炎	1.36	2.00	1.20	1.14	0.00	3.00	3.33	0.38	5.67	2.83	2.20	2.80	2.17
	感染性胃腸炎	1.73	7.40	5.40	2.86	1.67	0.20	10.22	2.88	10.33	8.17	4.20	0.20	4.76
	水痘	0.09	0.60	0.20	0.00	0.00	0.20	0.44	0.00	0.33	0.33	0.20	0.20	0.21
小児科	手足口病	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.60	0.00	0.07
	伝染性紅斑	0.00	0.00	0.00	0.57	0.33	0.00	0.67	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.16
	突発性発しん	0.27	0.80	0.20	0.29	0.00	0.00	0.56	0.13	0.50	0.00	0.40	0.00	0.28
	百日咳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	ヘルパンギーナ	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.11	0.00	0.17	0.17	0.40	0.00	0.09
	流行性耳下腺炎	0.73	1.00	0.20	0.14	0.00	2.20	1.56	0.38	0.33	0.33	1.00	0.20	0.71
眼科	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.06
HK14	流行性角結膜炎	1.33	3.00	1.00	0.50		0.00	0.67	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.71
	細菌性髄膜炎 (真菌性を含む)	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
	無菌性髄膜炎	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
基幹	マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00		1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.15
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
) (A 6 ft - a	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 等所は字点医療機関・	0.00	1.00		0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.23

[※]斜線の箇所は定点医療機関が設定されていません。

定点把握对象疾患報告数【週別発生状況】2016年第20週







保健所管内別定点医療機関数

<u> 保健川官</u>	<u>内別疋尽医獠饭</u>	菱) 数			
保健所名			定点種別		
	インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹
水戸	17	11	3	4	2
ひたちなか	8	5	1	1	1
常陸大宮	8	5	1	1	0
日立	11	7	2	2	2
鉾田	5	3	0	1	1
潮来	8	5	1	1	1
竜ケ崎	14	9	3	3	2
土浦	13	8	2	3	1
つくば	10	6	1	2	1
筑西	10	6	1	2	1
常総	8	5	1	1	0
古河	8	5	1	1	1
計	120	75	17	22	13

茨城県感染症発生動向疾患別年齢別報告数

次	77 YEV 1111 -	一番いいま	X D 3X									
保健所	水戸	ひたちなか	常陸大宮	日立	鉾田	潮来	竜ケ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河
インフルエンザ	6		4	<u> п - и</u> 2	<u> </u>	0	4	<u>工/冊</u> 1	6	0	0 13 1/102	6
12270-23	U		7		<u> </u>	U			o _l	<u> </u>		<u> </u>
	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳
インフルエンザ	0	0	0	3	0	3	0	2	1	2	0	7
	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~	合計			
インフルエンザ	5		2	2	0	1	0	1	30			
	Ü					.,		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				
●小児科定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳
 RSウイルス感染症	~37 H 1	0	1 成		ろ成 0	4 成 0	<u>り成</u> 0	0成	/ _{/ / / / / / / / / / / / / / / / / /}	O所以 0	9成	~ 14 _{//} 0
咽頭結膜熱	0		11	2	1	1	3	0	1	1	1	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0		6	9	19	16	34	19	18	11	4	15
<u></u> 感染性胃腸炎	7	25	35	42	38	28	21	25	16	9	13	32
水痘	0	0	1	1	1	1	2	3	3	2	2	0
手足口病	0		2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0		0	0	0	6	3	2	0	0	0	1
突発性発しん	1	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	2	0	1	1	0	0	0	2	0	0
流行性耳下腺炎	0	1	1	1	6	6	5	10	6	3	5	8
	~19歳	20歳~	合計									
RSウイルス感染症	0											
咽頭結膜熱	0	0										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	8										
感染性胃腸炎	8	58	357									
水痘	0	0	16									
手足口病	0											
伝染性紅斑	0	0										
突発性発しん	0											
百日咳	0		0									
ヘルパンギーナ	0		7									
流行性耳下腺炎	1	0	53									
●眼科定点												
	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳
急性出血性結膜炎	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	合計				
急性出血性結膜炎	0		0	0	0	1	0	1				
流行性角結膜炎	0	2	0	2	3	2	3	12				
●基幹定点												
●坐杆足点	~5ヶ日	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳
	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			2成	3原以 0	4 版 0	0 成		/ / /// 0	O 历义 0	95%	0 14成
無菌性髄膜炎	0			0	0	0	0		0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0		_	0	0	0	0		0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
心不正日間及(日アノコルハ)										. U	U	U
	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~	合計			
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	0		0	0	0	0	0		0			
無菌性髄膜炎	0			0	0	0	0		0			
マイコプラズマ肺炎	0			0	0	0	0	2	2			
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0			0	0	0	0		0			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	3			